

令和 8 年 3 月 2 日

当初予算説明

3 月 定 例 会 議

常 総 市



本日、当初予算をはじめとする重要な案件が出揃う3月の定例会議を迎えることができ、改めて市長の職を務めることに身の引き締まる思いを実感しております。

当市は少子高齢化、人口減少といった構造的な課題に加え、地球規模での気候変動、さらにはデジタル化の急速な進展など、社会全体の大きな変革の只中にございます。市民の暮らしを圧迫する物価高騰対策、喫緊の課題である災害への備えなど多くの課題解決に取り組む必要がありますが、引き続き、議員の皆さまを始めとする各方面の協力をいただきながら、市政運営に努めてまいり所存でございます。

ここに令和8年度予算を提出するに当たりまして、予算編成の基本的な考え方及び重点施策等についてご説明申し上げます。

今回、令和8年度予算につきましては、市長に就任後10回目の当初予算編成となります。限られた財源の中で、未来に誇れる常総市をつくるため、じょうそう未来創生プラン、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた事業に重点的に取り組むとともに、市民の皆さまとの約束事であるマニフェストの実現に向け、子どもまんなかまちづくり常総、未来につなげる地域づくり、市民に便利な常総市役所DXの3点を推進することを軸に、予算編成を行いました。

まず、現在の常総市の財政状況からご説明申し上げます。

歳入面においては、賃金の上昇に伴う個人所得の伸びや常総インターチェンジ周辺大型物流施設が新たに課税対象になることなどが影響し、市税収入は令和7年度に引き続き100億円を超える見込みとなっております。普通交付税につきましては、物価高騰や人件費の上昇といった増額要因はあるものの、市税等の増収があることを考慮し、令和7年度の当初予算と同水準になると見込んでおります。

歳出面においては、人事院勧告に伴う給与改定等や少子高齢化の進行等による社会保障費の増加などで義務的経費が増加傾向にあることに加え、物価高騰などの影響による物件費の増加、一部事務組合への負担金の増加などにより、市税や普通交付税の増収では収支の均衡を図ることが難しい状況にございます。

このため、事業の緊急度・優先度を見極めた各部長の考えを反映するとともに、子どもまんなかまちづくり常総の推進のほか、未来の地域づくりや市役所業務DX化など真に必要な事業に対し、優先して予算措置を行ったところでございます。

主な重点施策としましては、水海道地区市街地まちづくり事業、圏央道スマートインターチェンジや産業団地整備事業といった令和7年度に着手した事業の継

続のほか、新たに小・中学生の学校給食費の無償化、保育所や幼稚園業務のデジタル化の推進などの予算を盛り込んだところです。

以上が予算編成及び重点施策の概要であります。

次に、令和8年度の予算規模であります。一般会計で2百68億2百万円、6つの特別会計で192億8百34万1千円となり、合わせますと4百60億1千34万1千円になるものです。

以下、会計ごとにご説明申し上げます。

まず、議案第108号 令和8年度常総市一般会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、2百68億2百万円で、前年度当初予算と比較しますと4億8千2百万円、1.8パーセントの増になるものです。

まず歳入ですが、市民税につきましては、賃金の上昇に伴う個人所得の伸びや常総インターチェンジ周辺大型物流施設が新たに課税対象になることなどにより、市税全体では令和7年度から1億8千93万2千円増の105億2千4百90万8千円を計上しております。

地方交付税につきましては、令和7年度と同額となる普通交付税38億5千万円、特別交付税3億5千万円、合わせて42億円を計上いたしました。

国庫支出金につきましては、障がい者自立支援給付費負担金、児童手当負担金、子どものための教育・保育給付費負担金、生活保護扶助費負担金、水海道地区市街地まちづくり事業費に対する都市構造再編集中支援事業費補助金などでございます。

県支出金につきましては、小学生の給食費無償化に対する給食費負担軽減交付金を新たに計上したほか、障がい者自立支援給付費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金、茨城県議会議員選挙費の委託金などを計上しております。

市債につきましては、水海道地区市街地まちづくり事業債3億5千2百40万円や道路新設改良事業債2億2千2百30万円など、総額で8億2千9百万円を計上いたしました。

その他の歳入につきましても、関係法令の基準や過去における収入状況などを十分に検証しまして、それぞれ計上いたしました。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

初めに、人件費につきましては、一般職給485人分を見込むとともに、地域

手当については近隣自治体の支給割合を勘案し、人材確保の観点から国の基準である4%を上回る6パーセントで支給する内容となっております。

続いて、款別の主なものをご説明申し上げます。

まず、議会費につきましては、議員報酬や政務活動費交付金などを計上しております。

総務費につきましては、総合計画基本構想・基本計画策定業務委託料のほか、地域コミュニティ協議会支援補助金、多言語翻訳システム利用料、茨城県議会議員選挙費などを計上いたしました。

民生費につきましては、障がい者の自立支援給付費や生活保護などの扶助費のほか、新たに障がい者プラン改定業務委託料や乳児等通園支援給付費、公立及び民間保育所の業務支援システム導入事業などを計上いたしました。

衛生費につきましては、保険適用となる生殖補助医療と併用して実施した保険適用外の先進医療の費用に対して助成する不妊治療助成金のほか、1ヶ月児を対象とした健診や5歳児を対象とした健診及び歯科健診の拡充費用を新たに盛り込んだところでございます。

農林水産業費につきましては、水田において転作作物への転換を行った生産者に対して、転換面積に応じた助成を行う水田活用促進事業費補助金や土地改良事業に対する補助金などを計上いたしました。

商工費につきましては、中心市街地活性化経費や市内での雇用の拡大を図るための雇用拡大奨励金を計上いたしました。

土木費につきましては、昨年度からの継続事業である水海道地区市街地まちづくり事業費、圏央道スマートインターチェンジ整備事業や産業団地整備事業に係る業務委託料を計上したほか、幹線道路及び生活道路の改良工事費、橋りょうの維持事業費などを計上いたしました。

消防費につきましては、鬼怒小貝水防訓練の開催費用や防災備蓄品の整備費用を新たに計上したほか、災害時協力井戸制度の実施に要する看板設置費用などを計上いたしました。

教育費につきましては、新たに市内の小学校と中学校に通う児童生徒の給食費無償化事業のほか、公立幼稚園の業務支援システム導入事業、広島市で行われる「全国平和学習の集い」等に中学生を派遣するヒロシマ平和学習派遣業務委託料、英語検定料の一部を助成する補助金などを計上いたしました。

以上が今回ご提案いたしました令和8年度一般会計の概要であります。詳細につきましては、委員会等におきましてご説明申し上げますので、十分ご検討の上、適切な議決を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

続きまして、特別会計予算につきましてご説明申し上げます。

まず、議案第109号 令和8年度常総市国民健康保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、60億4千百49万2千円でございます。

歳入につきましては、11,800人分の国民健康保険税、県支出金、一般会計繰入金などがございます。

歳出につきましては、療養給付費や高額療養費のほか、国民健康保険事業費納付金などを見込み、必要額を計上しております。

次に、議案第110号 令和8年度常総市後期高齢者医療特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、18億3千8百94万1千円でございます。

歳入につきましては、被保険者11,000人分の保険料のほか一般会計繰入金などがございます。歳出につきましては、広域連合納付金などを計上しております。

次に、議案第111号 令和8年度常総市介護保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、57億4千2百77万7千円でございます。

歳入につきましては、第1号被保険者18,483人分の保険料のほか、介護保険法に定められた負担割合に応じ、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及び低所得者保険料軽減分を含めた一般会計繰入金などをそれぞれ計上いたしました。

歳出につきましては、人件費のほか、要介護認定者が受ける介護サービス給付などの保険給付費が主なものでございます。

次に、議案第112号 令和8年度常総市介護サービス事業特別会計予算につ

いてご説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、2千6百30万3千円でございます。

歳入につきましては、介護予防サービス計画作成報酬が主なもので、歳出につきましては、計画作成の一部を委託するための経費などを計上いたしました。

次に、議案第113号 令和8年度常総市水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

まず、収益的予算であります。収入につきましては、水道料金、新規加入分担金、消火栓負担金など16億7百59万4千円を計上いたしました。

支出につきましては、人件費のほか、受水費、減価償却費などを合わせて15億8千3百44万4千円でございます。

次に資本的予算であります。収入につきましては、企業債として2億1千4百60万円を計上しております。支出につきましては、国道294号立体交差に伴う配水管布設工事費や西部及び東部浄水場の設備更新工事費など、合わせて5億5千3百6万1千円を計上いたしました。

なお、資本的予算で財源不足となる3億3千8百46万1千円につきましては、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補填するものです。

次に、議案第114号 令和8年度常総市下水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

まず、収益的予算であります。収入につきましては、使用料、一般会計補助金など、支出につきましては、人件費のほか、処理場維持管理委託料、減価償却費など15億8千2百11万3千円を計上いたしました。

次に資本的予算であります。収入につきましては、企業債、一般会計出資金、国庫補助金などを合わせて14億7千3百1万6千円を計上しております。

支出につきましては、中妻地区への幹線整備工事費のほか、豊岡地区及び本石下地区の面整備や新石下・本石下地区の下水路整備など、合わせて18億4千21万円を計上いたしました。

なお、資本的予算で財源不足となる3億6千7百19万4千円につきましては、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金などで補填するものです。

以上が今回ご提案申し上げます特別会計予算の概要であります。

なお、詳細につきましては、委員会等におきましてご説明申し上げますので、

十分ご検討のうえ適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。